

きんもくせい

平成29年 学校教育だより

September **9** 第334号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線623)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



たくさんはいるといいな

写真提供／鶴瀬小学校

ともだち

勝瀬小学校 三年

神谷 咲良

ともだちは、
あそんでくれたり、
なぐさめてくれたりしてくれる。
ともだちはいいもんだ。
ともだちは、
けんかもするけど、
仲がよくなる。
ともだちはいいもんだ。
ともだちは、
いろいろなことをいっしょに
しんけんにかんばってくれる。
ともだちはいいもんだ。

仲間との試行錯誤の中で四つの技能を伸ばす

英語は日本語と同じく言葉であり、コミュニケーションの道具です。言葉が使われる場面には人と人とのつながり（話し手と聞き手、書き手と読み手など）があり、当事者同士が伝えたい、または伝え合うべき「意味」のやり取りが必ず存在します。学校の英語教育においても、仲間同士のつながりを大切にしながら、自分の考えなどを伝え合い、「意味」のやり取りをするコミュニケーションツールとして、英語を教えていくことが大切だと実感しています。また、学習指導要領には、英語科の目標として四つの技能（読む・書く・聞く・話す）を育成することが明記されており、これらを総合的に育成することが求められています。私も一人の英語学習者として言語は短期間で身につかないことを実感していますが、週四時間という限られた授業時間の中で、以下の三点に留意しながら、生徒に四つの技能を身につけさせたいと日々奮闘しています。

四技能（読む・書く・聞く・話す）の総合的な育成を目指して

指導者 水谷中学校 教諭 村瀬 智子

①生徒一人ではできないことを授業で行う。

授業では音読練習や会話練習を中心に行います。生徒一人では文章を音読する力、相手と話す力を身につけるのは難しいからです。これらの力は仲間と一緒だからこそ練習し、伸ばすことができる力です。活動内容に合わせて、ペアやグループ（四人から六人など形態も変えて練習を行っています）

加えて、書くことも授業で取り上げます。授業の終わりで七、八分でその日の会話練習で学んだ表現を文に書き改めたり、既習事項を使った短い

また既習事項をさりげなく Classroom English などとして活用し、くり返し生徒の耳に触れる機会を増やすことを意識しています。

授業の中心は何と云ってもペア・グループ学習です。授業冒頭でペアによるQ&A質問と答え）練習から始まり、新しい文法事項や表現を取り入れた会話練習やインタビュー活動、スピーチ大会やグループでのダイアログ作成と発表会など、ペア・グループ学習がない授業はほとんどありません。

生徒がいかに能動的に学べ

わかる授業 = 中学校の英語 =

四技能（読む・書く・聞く・話す）の総合的な育成を

特別支援教育

心の交流・交流給食

鶴瀬小学校教諭 三井 信子

「いつてきまます。」
給食の準備の後、Aくんの元気のいい声が響く。

「今日は上のお教室へ行って給食を食べる日だね。」

上を指して教えてくれるBちゃん。週に一回交流学級で給食を食べることをちゃんと知っている。

なかよし学級では、それぞれの児童が交流学級で給食を食べる交流給食を行っている。

そういうえば、自分も小学生のとき、こんなことが……。

今日の給食は納豆。納豆をかき混ぜていると、どんどん糸を引いて困ってしまった。

そのとき、一緒に食べていた特別支援学級のKくんが、すかさずはさみを隣の子から借り、なんとその糸を切るうと

した。しかし、納豆だから、そのはさみにも糸がついて余計に伸びてしまい、班のみん

南畑小学校 6年

清水 きらり



私たちの南畑小学校には、「南畑小夏祭り」という行事があります。各班で行う出し物には、おぼけやしきや射的があります。合わせてスタンプラリーもやっています。いろいろなお店があり、この時期になると「あの店に行きたいね。」「あそこのお店が楽しそうだよ。」という声が聞こえてきます。

南畑小夏祭り

今年は私にとって小学校生活最後の夏祭りでした。1年生から6年生まで全員で協力でき、今までの夏祭りの中で一番楽しく最高の思い出になりました。

次の5年生が6年生になったら、今まで以上に楽しい夏祭りを計画・実行して行ってほしいです。



②生徒が英語に触れる時間をできるだけ多くとる。

教師の日本語による説明は極力少なく、できるだけ単純で明確な英語による説明を意識するように心がけています。教室での指示英語（Classroom English）も Open your textbook など簡単なものから少しずつ増やしていき、三年生の段階

では、新しい文法事項や表現の導入においても、ほとんど英語だけで進めていきます。多少難しくても、生徒たちの予想する力は想像以上です。

うな話題で引きつけ、意味をとめないながら自然と文法「形」に意識が集まるようにしていきます。

③文型・文法「形」とともに「意味」を大切にします。

新しい表現の導入や練習においては、その表現が使われる状況設定を大切に、「意味」をともなつた練習となるようにしています。何の状況設定もなされぬまま、「This is a pen.」と繰り返し練習しても、本当の意味で使えるようにはなりません。導入部では生徒の身近で興味のある

なは大笑い。でもそれは、私を助けようとしたKくんの優しさに包まれた温かい笑い声だった。

さあ、今日はCくんが行く日。いつも完食してくるから苦手なお肉も食べられるね。

「Dくん、来てね。」
交流学級の友達が迎えに来る。友達のおしゃべりが大好きなDくんは、お誘いを受けて嬉しそう。

今日はどんな心の交流をしてくるのだろう。遠い昔の記憶を想いながら、心を込めて送り出す。
「いつてらっしゅい。」



例えば、けん玉を用意し、Do you know how to play kendama? と言いながら生徒にやらせます。そして、成功したら、Oh, he knows how to play kendama. と言いながら how to の「形」に注目が集まるようにしていくのです。展開部の言語活動でも、現在完了形の学習の際は修学旅行前だったので、「もういいレストランは見つけた？」などと休み時間の会話でもありそうな場面設定をし、練習を行いました。このように、自然な状況設定を大切にすることで、生徒は「意味」を意識しながら自分のことを表現できるようになります。

「意味」を伝え合えること、これが言語学習の醍醐味であり、真のコミュニケーションへとつながる一歩であると考えます。

指導・講評

水谷中学校校長 上堀 護
今の一年生が卒業する年には東京オリンピックが開かれ、外国人と接する機会が格段に増えます。これからの外国語学習はコミュニケーションツールとして「使える」ことが求められており、授業改善は喫緊の課題です。

村瀬教諭は英語に長けているだけでなく、豊富な知識と経験から、様々なアクティビティを通して、生徒の興味関心を高め、思考力・判断力・表現力を養う授業を展開しており、今後の活躍が期待されます。

ノーマライゼーション

富士見台中学校保護者 松本 敦史

我が家には、三人の子どもがいますが、長男が発達障がいです。学校には特別支援学級があり、楽しく通学させていただいております。通常の学級の子どもたちもよく接してくれています。また、姉弟も障がい者の姉、弟として思いやりのある人間に育ってくれました。今まで携わってくれたすべての方に感謝です。

さて、今回お話させていただくのは、お願いになってしまいましたが、障がい者への理解です。例えば、奇声を発する子どもがいたら皆さんはいかがしますか？眉間にしわを寄せて迷惑そうに見たり、ひそひそ話したり。一部ですが、そんな人もいます。つらいのは親です。電車やお店などでは「うるさくしてすみません。」と謝ってしまうこともあります。何も悪くないのに……。

そんな時救われるのが、温かい目です。それだけで親は安心します。安心している親



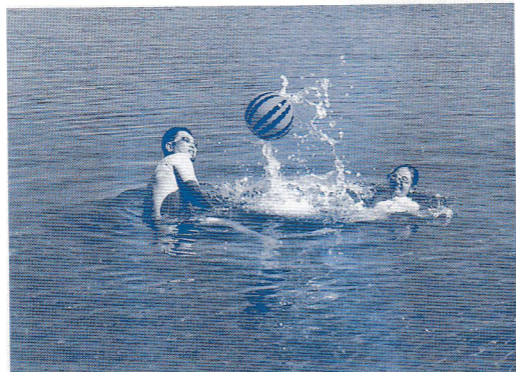
【あいサポートバッジ】

の横にいる子どもは、情緒も安定するでしょう。また、富士見市は、あいサポートという障がいのある人に温かく接し、障がいのある人が困っていたらちよつとした手助けを行う運動を推進しています。興味のある方は、ぜひ市役所に問い合わせみてください。結びに、子ども達には、思いやりや優しさをもった大人になってほしいと考えるのは、親として当たり前です。そのためにも、思いやりと優しさがある大人を見せてあげたいと思います。

って娘はひとりで出かけて行きました。内心、本当に驚きました。こちらが笑顔で「いってらっしゃい。」と送り出しました。

それまでは、言いたいこともなかなか言えない子でしたが、授業中も積極的に手を挙げたり、友達とも話せるようになりました。

大丈夫と思えるまで付き合っただけでよかったです。ありがとうございます。



認め合い・支え合い・高め合い

本郷中学校

本郷中学校では、授業や行事、部活動などの様々な場面で、互いに認め合い・支え合い・高め合いながら絆を深める活動を大切にしています。

一学期で絆を深める最高の機会となるのが「体育祭」です。本校の体育祭の特徴は、学年縦割りによる色別対抗の取組です。本番までの約一ヶ月間、先輩が後輩をたくましく導く姿、クラス・学年・色

団をこえて声援や拍手を互いに送る姿がとても印象的でした。そして何よりも三つの学年が一丸となって披露する応援合戦は圧巻でした。この交流は「合唱コンクール」や「ロードレース大会」の取組を通じて、さらに深まっています。

他者との関わりは自己理解を深めるとともに、他者の多様な個性を尊重する態度も養われます。今後も積極的にコミュニケーションを図り、協働して物事に取り組むことができる生徒の育成に努めてまいります。



コミュニケーションを図り、協働して物事に取り組むことができる生徒の育成に努めてまいります。

教育課題特集

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

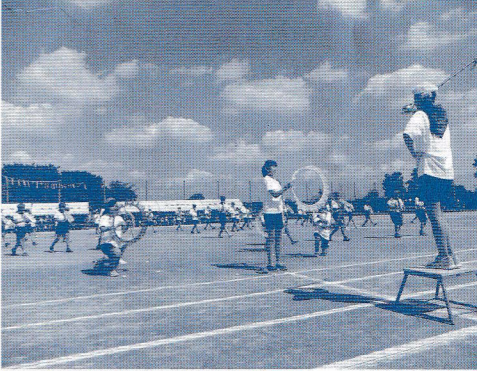
生きる力を

ふるさとに響け、私たちのメロデー

南畑小学校

南畑小学校では、六年生による鼓笛隊の活動が、よき伝統として受け継がれています。五年生の三学期になると、六年生から楽器の吹き方などを教えてもらい、引き継ぎ練習が始まります。面倒見がよく、優しく丁寧に後輩に指導する六年生。それに応えようと、休み時間も必死で練習する五年生。二月末の受け継ぎ式では、六年生や保護者に見守られる中、覚えたての三曲

を披露します。四月からは、市内の数々のお祭りへ活躍します。そして三学期、先輩に教えてもらったように、後輩に優しく教える六年生の微笑ましい姿が、校舎のあちらこちらで見られます。



包まれながら、今年も鼓笛隊のメロデーが地域に響き渡っています。

生きる力をはぐくむ

水谷東小学校保護者 小林 恵美子

わが家の娘は五年生です。わが家のことはひとりできるとなりました。とても感受性が強く慎重で、三年生くらいまでは、すぐに泣いてしまつて母と一緒に泣けば何もできない子でした。お母さんといたいから幼稚園に行かないとか、ひとりで行くのは心配だから嫌だと言うことも日常茶飯事でした。でも、無理矢理ひとり何かをさせることはしません。

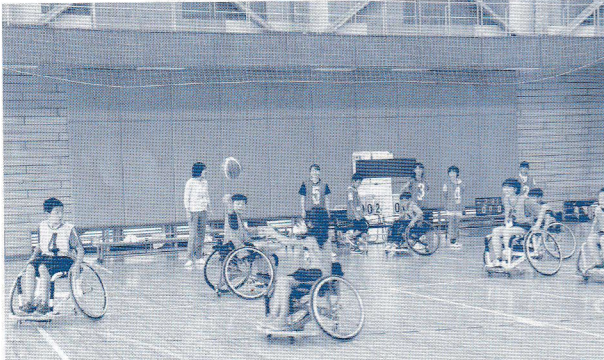
でした。学校も、本人が来てほしいと言う時は送り迎えをしていました。先輩ママの励ましもあり、まだ不安な気持ちでいっぱいだったと思つているのだからいいや、そのうちなんとかなると思つていました。そして三年生もあと少しで終わる頃、その日は突然やってきました。 「ひとりで行つてみる。お母さんこなくていいよ。」と言

スポーツでキラリと輝け!!

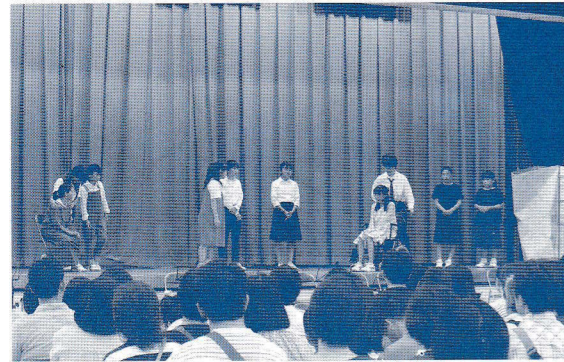
生涯学習課主事補 清水 智史

今年で四回目を迎えた子どもスポーツ大学☆ふじみ。市内の小学四年生から六年生までの子どもたちが六月から九月までの期間、様々なスポーツを体験します。今年度はドローン、車いすバスケ、乗馬、野球、空手、バレーボール、卓球の講義を行いました。また、特別講義としてロンドン五輪レスリング女子四十八kg級メダリスト小原日登美さんによるレスリング体験教室も開催しました。

これも子どもスポーツ大学の目的の一つです。毎年、最終日には「楽しかった。」「初めての経験ができてよかった。」「違う学校の友達ができてよかった。」「などの声が聞こえてきます。そんな子どもたちの顔を見ると、講義初日と比べて、一回りも二回りも成長したように感じます。来年度も新たなプログラムを企画予定です。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。きっと世界が広がります。



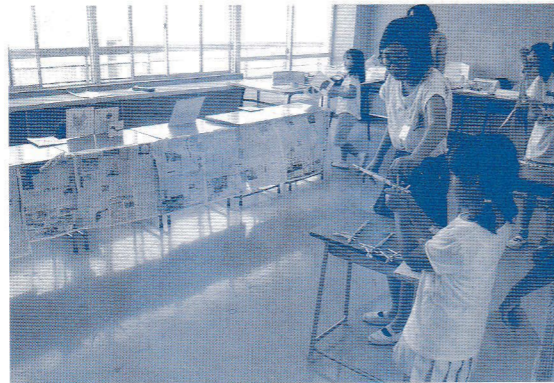
子どもスポーツ大学では、普段なかなか体験できないスポーツを中心に、一流の選手や指導者を招き、ご指導いただけます。子どもたちにとっては、未知のスポーツに触れる「スポーツをする楽しさ」を感じるよい機会だと思います。講義で体験したスポーツを本格的に始めるきっかけになるかもしれません。



勝瀬中

楽しく素敵な 文化活動発表会

運動部の活躍が際立つ勝瀬中学校ですが、文化部の活動も活発です。学校公開日に合わせて開催しています。



水谷東小

笑顔あふれる東っ子まつり

6年生を中心に各チームで様々な遊びを計画しました。多くの保護者、地域の方が来校し笑顔いっぱいでした。



諏訪小

伝統文化「お茶席」体験

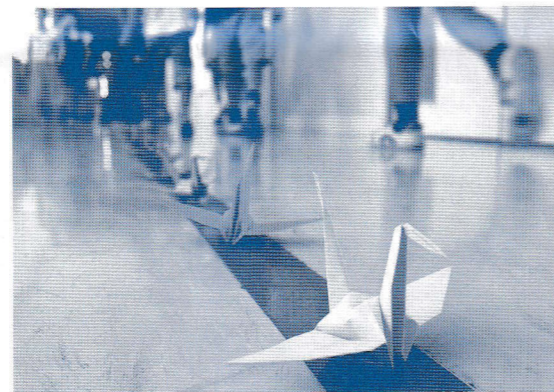
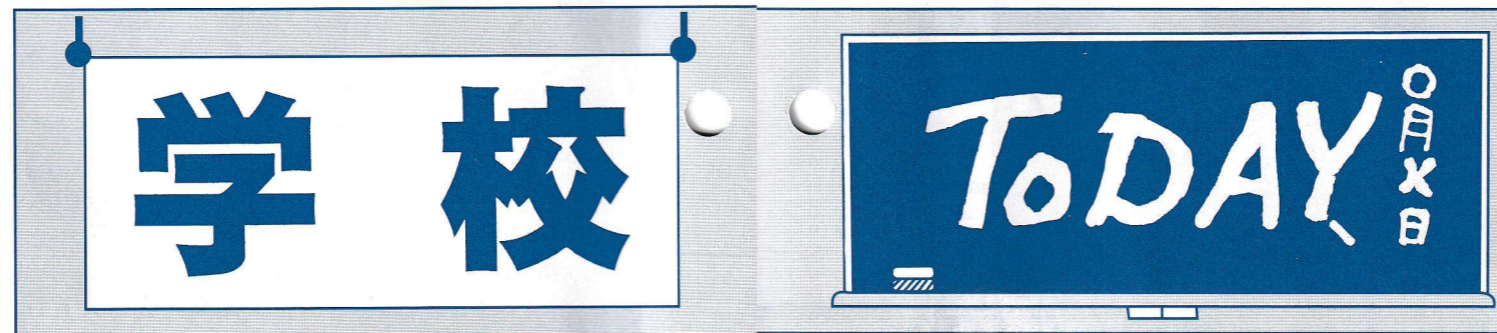
古くから伝わる「お茶席」を6年生が体験しました。地域の方を講師に招き、茶のこころについて学びました。



みずほ台小

みずほハッピーワールド

「いらっしゃい」子どもたちの声が聞こえてくる縦割り活動のお祭りです。お店ごとに考えたあそびでお客さんを楽しませます。



針ヶ谷小

ろう下は静かに右側を歩く！

生活目標を達成するために、ろう下のセンターラインの上に折り鶴を置き、みんな踏まないようにしています。



関沢小

コの字型の机の配置で学び合い

「コの字型の机の配置」を積極的に行うことで、他者と向かい合い、他者と対話してつながり合う授業を実践しています。



東中

輝け「あじさい街道」

富士見高等学校の隣に通る「あじさい街道」。緑化ボランティアで花を植えました。輝く花をぜひ見てください。



西中

「出前授業～先輩からのメッセージ～」

東入間青年会議所の皆様を講師にお招きして、「夢」を叶えることの大切さについて熱く語っていただきました。



勝瀬小

挨拶で心と体にスイッチオン！！

毎朝、児童と教職員の声元気が響き渡ります。挨拶は、1日を明るく過ごす為のエネルギーです。

脳脊髄液減少症について

「脳脊髄液減少症」という病気をこ
存知ですか。
これは、頭部や全身に強い衝撃を受
けたことなどが原因で、脳脊髄液（髄
液）が慢性的に漏れてしまい、脳脊髄
液が減少してしまう病気です。

【どのような事故で発症するのか】
○学校で起こりうる事故
・尻もちをついた。
・転んで頭を強く打った。
・廊下等で転倒した。

○スポーツ外傷
・頭部にボールが当たった。
・活動中に子ども同士が激突した。
○学校生活以外
・交通事故によるむち打ち症

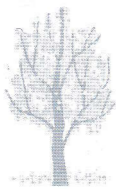
【脳脊髄液減少症の症状】
次のようなさまざまな症状があります。
・頭痛、耳鳴り、聴覚過敏、めまい、
ふらつきなど
・微熱、体温調節障害、動悸、呼吸困
難など
・記憶障害、思考力、集中力が極度に
低下、いつも頭がボーッとしてもや
がかかっている、うつや無気力
・極度の倦怠感、睡眠障害

この病気は、見た目にはどこも悪く
なさそうなので、精神的なものや、な
まけ病と言われることが多く、周囲の
人に怠惰であるとの批判を受けやすい
という特徴があります。

学校では、入学当初から脳脊髄液減
少症の症状を呈しているにも関わらず、
保護者に尋ねても原因不明で治療など
を受けたことがない子どもの保護者に
は、「脳脊髄液減少症」という病気が
あることを伝え、医療機関の受診を勧
めています。
また、学校では、事故が発生した後
に子どもに頭痛やめまい等の症状が見
られた場合、「脳脊髄液減少症」の疑
いを含め、医療機関への受診を勧めて
います。

【ブラッドパッチ療法】
「脳脊髄液減少症」のうち「脳脊髄
液漏出症」の治療法として、髄液が漏
れている周辺に自身の血液を注入し、
その血液の凝固作用を利用して、髄液
の漏れを防ぐ「ブラッドパッチ療法」
（硬膜外自家血注入療法）があります。
平成28年4月1日より、「ブラッドパ
ッチ療法」が保険適用になりました。
治療方法や診療・相談にかかる費用等
については、担当医師・医療機関とご
相談ください。

お子さんが「脳脊髄液減少症」と診
断された場合は、速やかに学校へご連
絡ください。お子さんの心身の状態に
応じ、学校では教職員が連携しなが
らさまざまな面で適切に対応してまい
ります。



教育委員会だより

○平成29年度学校総合体育大会 県大会・関東大会・全国大会 結果

富士見台中学校 女子 柔道 48kg級
田中 ひより (3年) 県大会2位 関東大会出場
東中学校 男子 バレーボール
県大会1位 関東大会3位
全国大会決勝トーナメント進出

中村幸太郎	互 絢太郎	笹野 和希
澤田 賛行	松浦 巧磨	橋本 拓磨
伊東 聖翔	玉手 裕	島村 健斗
伊東 幸輝	大村 優太	樋野 駿

東中学校 卓球 女子個人戦
鯨津 萌々子 (3年) 県大会3位 関東大会ベスト8
全国大会出場

勝瀬中学校 硬式テニス 女子ダブルス
角田 智 橋本 沙耶 (2年) 県大会1位 関東大会ベスト16

勝瀬中学校 卓球 男子団体戦
県大会3位 関東大会出場

谷 幸輝	梨本 一斗	鈴木 遥也
遠藤 成将	海野 哲郎	西井 治樹
小野 少華	狩野 耕助	

勝瀬中学校 卓球 男子個人戦
狩野 耕助 (2年) 県大会2位 関東大会出場

西中学校 水泳 女子200m自由形
松森 小夏 (3年) 県大会1位 全国大会出場

西中学校 水泳 女子100mバタフライ
守友 晃子 (2年) 県大会1位 全国大会出場

西中学校 水泳 200mバタフライ
守友 晃子 (2年) 県大会1位 全国大会6位

《お詫びと訂正》

5月号(333号)の「特別支援教育」を水谷小学校教諭新井玲子先生に執筆いただきましたが、タイトル「きのみ学級で」が「きみの学級で」となっていましたので、ここに訂正し、お詫びいたします。

編集日記

「全員がこのクラスでよかったと思えるような学級にしたい。」今年度初めて六年生を受け持つことになり、そんな気持ちで新学期を迎えました。六年生にとっては、すべての



「仲間の大切さ」

諏訪小学校教諭

菅野 未緒



行事が小学校生活最後となるので、心に残る思い出をつかってほしいという願いもありました。

六月下旬に行った親善ミニバスケットボール大会。子ども

そんなとき、数名の子が「クラスで応援の歌を考えた」と申し出てくれました。学級で話し合い、歌が完成したときには、自然とクラスの雰囲気も明るくなっていったよ

向かって、大会当日は全員が笑顔で参加していました。教室に戻り感想を聞くと、多くの子が「楽しかった。」と答えてくれました。

この経験をを通して、仲間同士で励まし合い、応援し合うことの大切さを子どもたちに伝えたい、そのすばらしさを経験してほしいという思いが強くなりました。

私たちは日々の練習に一生懸命取り組んでいました。しかし、チーム内での喧嘩や意見の食い違いが多く、子どもたちの気持ちがまとまらないまま、本番が近づいていました。

うに感じました。練習中、歌だけでなく「ナイスプレー」「がんばれ！」など仲間を励ます声も増えてきました。

「六年二組でよかった。」みんながそう思っていて卒業できるようなクラスになることを願っています。

「応援もプレーも全力で。」クラスみんなで考えた目標にしていきます。

自分のお話は、ある校長先生の朝会のお話で、数年前に雑誌で目にしました。

自分のお話は、ある校長先生の朝会のお話で、数年前に雑誌で目にしました。

富士見市では、小中学校の大規模改修事業が計画的に進んでいます。すでに改修が終わり新しくなった学校、これから予定されている学校、それぞれに子どもたちや学校教育に関わる皆さんがこの話を聞いて、よりよい学校にしたいと考えるようになったらいいなと考えています。

(庄司)